

作成日 2012年07月27日
改訂日 2013年10月21日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称	イオン パワーS (Ion Power S)
会社名	株式会社フェムテック
住所	東京都荒川区西日暮里2-50-5
電話番号	03-5615-3232
緊急時の電話番号	03-5615-3232
FAX番号	03-5615-3233
メールアドレス	info@femtech.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	区分5
	皮膚腐食性・刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分2

* 上に記載がない危険有害性は、「分類対象外」または「分類できない」である。

GHS分類に該当しない他の危険有害性 目に付着した時、処置が不適切だと視力の低下や失明などの障害を生ずる恐れがある

ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報 注意書き 予防策

危険
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

応急措置

使用前にすべての安全注意をよく読み、理解した上で正しく使用すること。
保護メガネを着用すること。

保護手袋を着用すること。

人体に害があるので、ミストを吸入したりも飲んだりしないこと

環境への放出を避けること

取扱い後はよく手を洗うこと

目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗い流すこと。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、同様に洗い流すこと。本品持参の上、直ちに眼科医の診断を受けること

吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。すぐに医師の診断を受けること。

万一飲み込んだ場合は、すぐに水で口をすすぎ、多量の水を飲ませ無理に吐き出させないで、本品持参の上、直ちに医師の診断を受けること

皮膚(または毛)についた場合は、水でよく洗い流すこと。衣類についた場合は、すみやかに脱ぐこと。

	汚染された衣服を再使用する場合は洗濯すること 異常がある場合、または気分が悪い場合は、直ちに医師の診断を受けること
保管	換気の良いところで保管すること。涼しい所に置くこと。できる限り縦置きにすること。
廃棄	内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・澤合物の区別
化学名又は一般名
製品説明
成分

混合物
アルカリ電解イオン水・クリーナー
液体状の洗浄剤
アルカリ電解イオン水 (30 - 40%)、
イソプロピルアルコール (13%以下)、
水 (30 - 50%)
1%未満の添加剤として、ノニオン系の界面活性剤2種、グリコールエーテル類2種、アルカノールアミン類2種と着色剤を含む。

内 イソプロピルアルコール

CAS番号: 67-63-0

官報公示整理 2-202
番号(化審法・(2)-202
安衛法)

アルカリ電解イオン水
添加剤成分

該当なし
微量のため、対象外

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	多量の水またはぬるま湯で洗うこと。その後外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は医師の診断を受ける
目に入った場合	清浄な水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。付着したまま放置すると、視力低下などの障害を生ずる恐れがある。すみやかに眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないこと。水で口の中をよく洗浄し、コップ1-2杯の牛乳又は水を飲ませる。すみやかに医師の手当てを受ける

5. 火災時の措置

消火剤	初期消火には炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等を使用する。
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	消火作業は、可能な限り風上から行う。漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないように配慮する。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	作業の際、保護メガネ、保護手袋、等の保護具を着用する。
環境に対する注意事項	薬品が河川等に排出されないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い	
安全取扱い注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 飲み込みを避けること。 皮膚との接触を避けること。

保管	保管条件	<p>眼に入れないこと。 アルカリ性なので酸性の製品と機触しないようにする</p> <p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 横に倒して保管しない 子供の手の届くところに保管しない</p>
8. ばく露防止及び保護措置		
	管理濃度 イソプロピルアルコール	イソプロピルアルコールのみ設定されている 【安衛通知】 管理濃度 200 ppm (67-63-0)
	日本産衛学会(2007年版)	Ceiling 980 mg/m ³ 400 ppm
	ACGIH(2007年版)	STEL 400 ppm TWA 200 ppm
	設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
	手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
	眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
	衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
9. 物理的及び化学的性質		
	外観	
	形状	液体
	色	うす緑色透明
	臭い	特異臭
	pH	約11~11.5
	融点・凝固点	データなし
	沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
	引火点	36℃ 燃烧持続性無し
	自然発火温度	データなし
	爆発範囲	データなし
	比重(密度)	約1.0
	溶解度	水に溶解
10. 安定性及び反応性		
	安定性	通常 of 取扱い条件においては安定である
	危険有害反応可能性	データなし
	避けるべき条件	データなし
	混触危険物質	データなし
	危険有害な分解生成物	データなし
11. 有害性情報		
	皮膚腐食性・刺激性	刺激性あり
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	中度の刺激あり
	発がん性	発がん性物質として認定されていない。 IARCの発がん性物質に認定されていない。
12. 環境影響情報		
	水生環境急性有害性	情報なし
	水生環境慢性有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意
- | | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 |
| 汚染容器及び包装 | 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 |
14. 輸送上の注意
- | | |
|---------------------------------|----------------------------|
| IPA含 Isopropanol
イソプロピルアルコール | 国連(UN)番号 該当しない |
| 国際 海上規制情報 | IMDGの規則に従う。 |
| 航空規制情報 | IATAの規則に従う。 |
| 国内 陸上規制情報 | 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う |
| 海上規制情報 | 船舶安全法に定められている運送方法に従う |
| 航空規制情報 | 航空法に定められている運送方法に従う。 |
15. 適用法令
- | | |
|---------|--|
| 労働安全衛生法 | イソプロピルアルコールのみ該当
有機則 第二類
通知対象物質 【No.494】
表示対象物質 【No.2の3】 |
| 消防法 | 該当しない |
16. その他の情報
- ・この情報は新しい知見にもとづき改廃されることがあります。
 - ・記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険性、有害性等に関しては、十分な保証をなすものではありません。
 - ・注意事項等は通常の手扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。